

# 奥州市における南部鉄器産業の現状と課題

氏名 高橋駿平

本研究の目的は、南部鉄器の歴史や、それがその地に根付くに至った背景を探り、インタビュー・アンケートを元に発展する産業と衰退する産業の要因を社会的に明らかにするというものである。

そのために筆者は奥州市にある2つの鑄造会社（プライバシー保護のため以後A社、B社と表示する）を訪れ、インタビュー調査を行った。調査方法はA社B社ともにヒアリング調査を用いて行った。主に、メーカー側の考える南部鉄器の魅力・強みや地域活性化についての質問を行った。また、A社に併設されているショップに来店した顧客に対してアンケート調査を行った。こちらではメーカー側と比較するために、カスタマー側の考える南部鉄器の魅力・強みについて質問を行った。

調査の結果、南部鉄器の魅力・強みは、「長く使えること」「メイドインジャパンであること」「サステナブルな商品であること」ということがわかった。両者を比較したところ、違いはあまり見られずメーカーの伝えたい魅力がカスタマーにしっかりと伝わっていることがわかった。また地域活性化について、発展する要因として「情報の質の変化」「技術力」「メイドインジャパンであることの信頼性」が、衰退する要因として「家族企業であること」「発信力が脆弱であること」「足並みが揃わないこと」ということがわかった。

考察として、今後の伝統工芸品産業の隆盛には「第三者の存在」が重要になるのではないかと考えた。顧客としての立場だけでなく、第三者の立場に立って何ができるかということを考える必要があるのではないだろうか。